

敷地の座標入力方法

文書管理番号：1021-02

Q. 質問

地積測量図の座標値を利用して、敷地を入力したい。
座標値を正確に入力しているが、極端に小さな敷地になってしまう。
座標値の桁数が多すぎて入力できない。

A. 回答

次の測量座標情報を例に、敷地を座標値で入力する際のポイントを説明します。

地番	① 40- * *	
No	Xn	Yn
1	12622.343	-32717.220
2	12624.132	-32719.882
3	12634.585	-32719.988
4	12634.855	-32702.091
5	12622.929	-32702.287

- **単位は「m」で入力**

通常、地積測量図に示されている座標値は「m」単位で、小数点以下3桁までとなっています。
敷地の座標入力では、単位は「mm」と「m」が選択できますが、「m」単位を選択し、地積測量図の数値をそのまま入力します。
単位を「mm」で入力した場合は、本来の敷地の1/1000の大きさになります。

- **X座標同士およびY座標同士で共通する部分を取り除く**





座標値に対して同じ値ずつ加算・減算しても、敷地の形状は変化しません。入力ミスが減らすためにも、共通する箇所を除き桁数を減らした値を利用します。

今回の例では、X座標 (Xn) では「126」、Y座標 (Yn) では「327」が取り除く部分となります。

* マイナスの符号は、除外せずにそのまま入力します。

地番	① 40-***	
No	Xn	Yn
1	12622.343	-32717.220
2	12624.132	-32719.882
3	12634.585	-32719.988
4	12634.855	-32702.091
5	12622.929	-32702.287

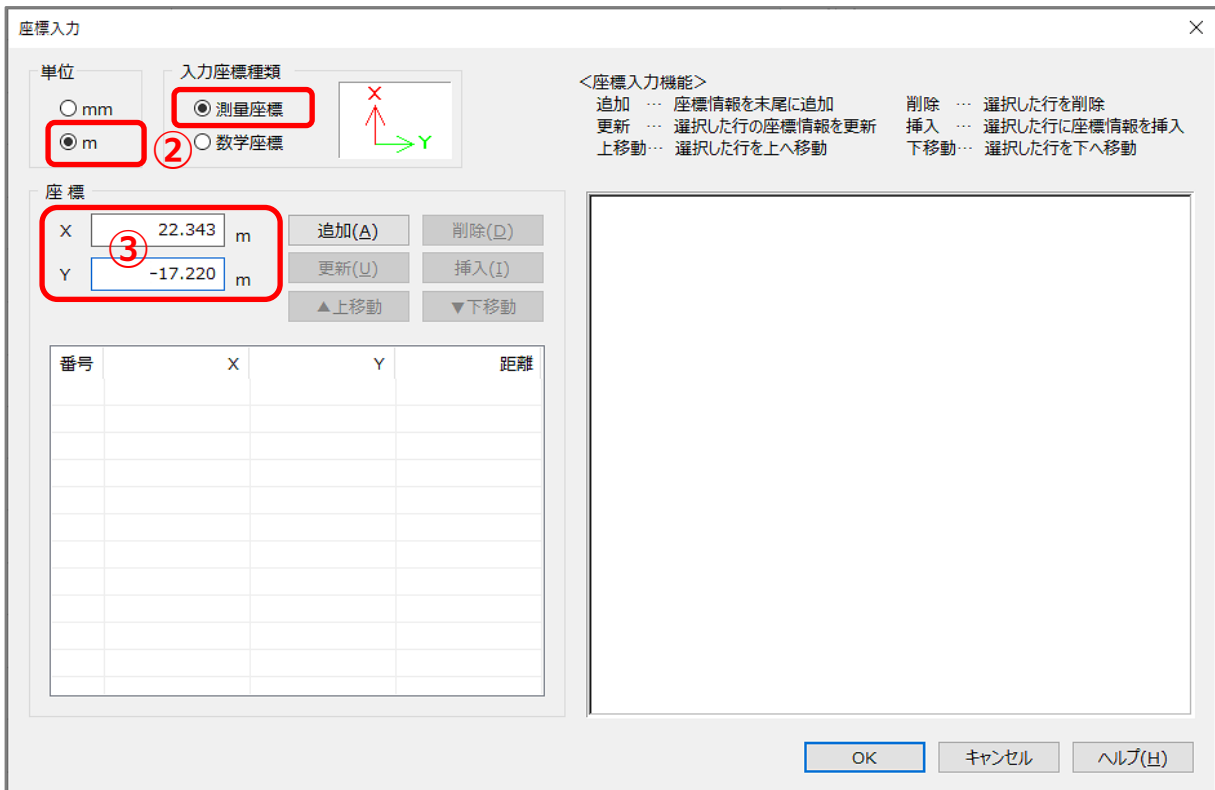
操作手順

①  (外構図)で、 (敷地)の (敷地線)をクリックし、 (座標入力)をクリック

* 座標入力の画面が表示されます。

② 単位は「m」を、入力座標種類は「測量座標」を選択

③ 測点 No.1 の座標値を、座標の「X」と「Y」のボックスにそれぞれ入力



座標入力

単位
 mm
 m
 数学座標

入力座標種類
 測量座標
 数学座標

<座標入力機能>
 追加 ... 座標情報を末尾に追加
 更新 ... 選択した行の座標情報を更新
 上移動 ... 選択した行を上へ移動
 削除 ... 選択した行を削除
 挿入 ... 選択した行に座標情報を挿入
 下移動 ... 選択した行を下へ移動

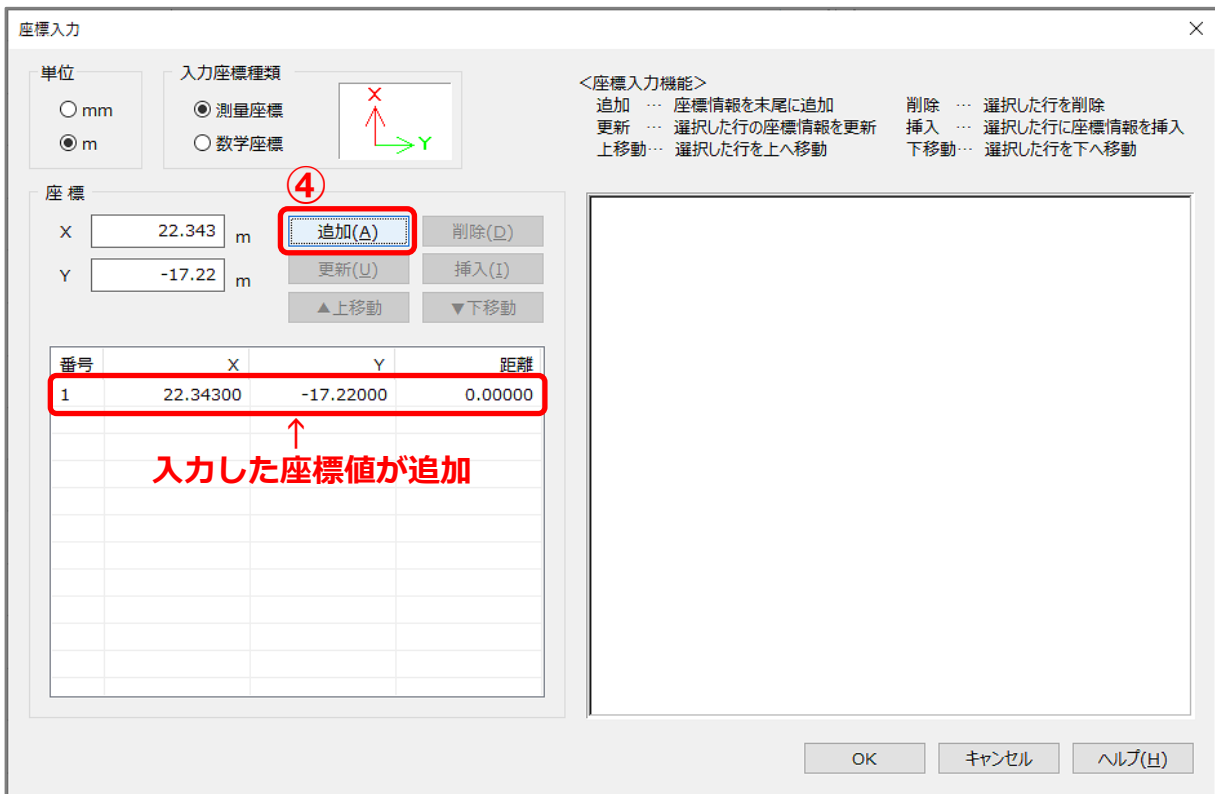
座標
 X 22.343 m
 Y -17.220 m

番号	X	Y	距離

OK キャンセル ヘルプ(H)

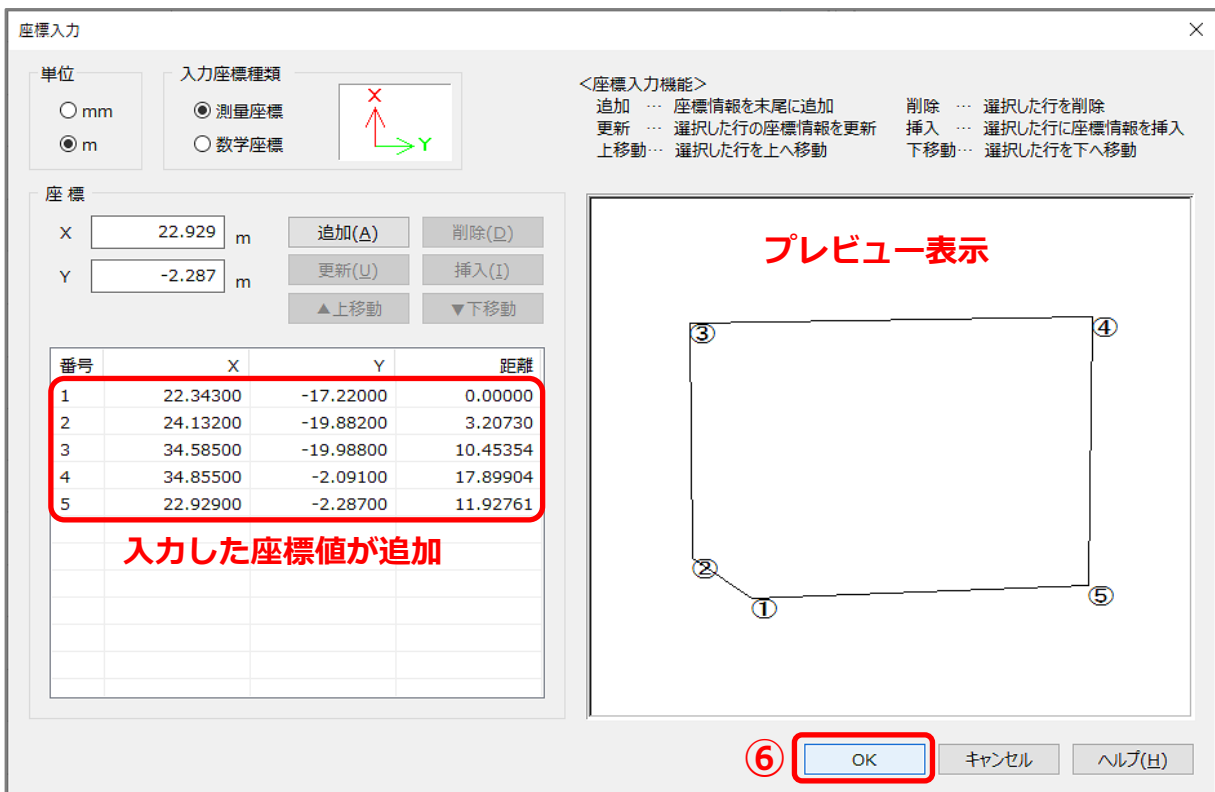
④ 座標値を入力後、「追加」をクリック

* 座標下のリストの一行目に、入力した座標値が追加されます。



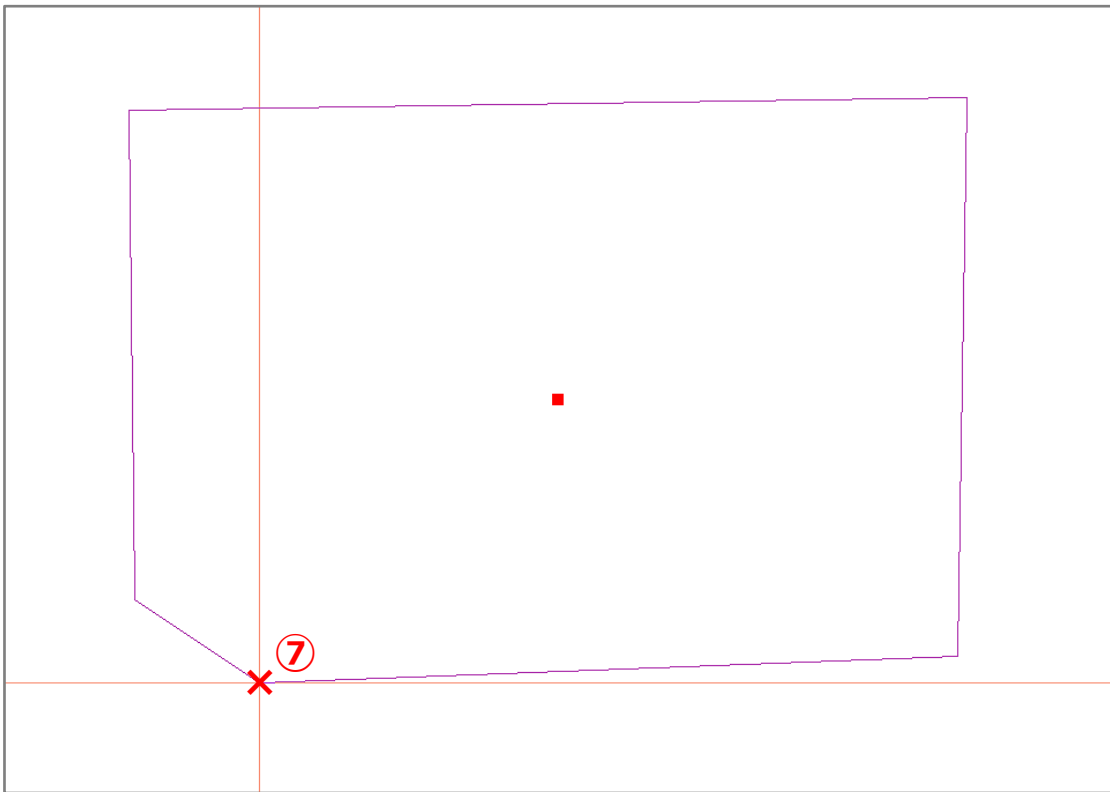
⑤ ③④の操作を、敷地の測点の数だけ繰り返す

* 座標下のリストに座標値が順に追加され、右側には敷地形状のプレビューが表示されます。



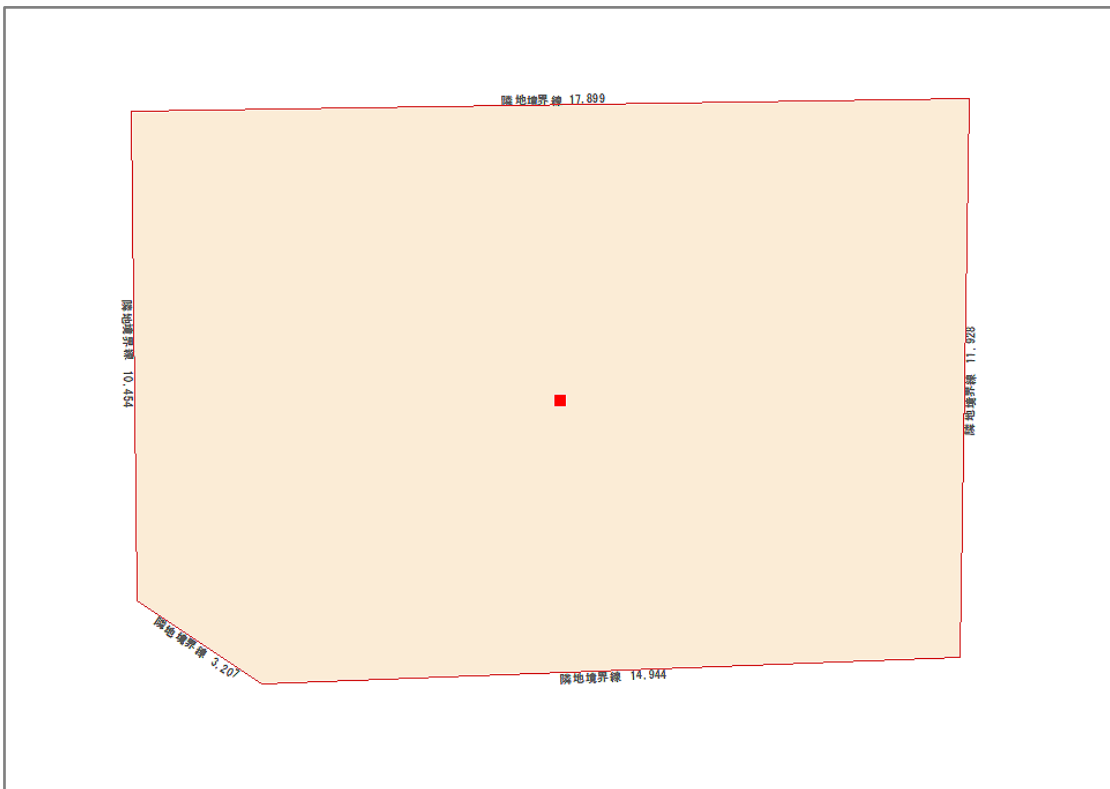
⑥ 座標値の入力が完了したら、「OK」をクリック

- * 敷地形状のプレビューがカーソルに表示されます。



⑦ スタートポイント（一番初めに入力した座標値の測点）の配置位置をクリック

- * 敷地線が入力されます。



参考

● 入力座標種類について

「測量座標」は、X を垂直軸、Y を水平軸にとり、「数学座標」は、X を水平軸、Y を垂直軸にとります。通常は「測量座標」を使用しますが、資料に従い選択してください。

座標値の入力後も切換えが可能です。

● 座標値の入力・編集について

一番初めに入力した座標値の測点が、外構図の画面に敷地を配置する際の基準点となります。

敷地の形状を配置する際に、基準とする測点の座標値から入力してください。

座標値の入力は、どの測点から入力してもかまいませんが、時計回りまたは反時計回りで順に入力します。

座標値の入力に、原点(0,0)の入力は必要ありません。

座標値の修正は、リストから変更したい座標値の行を選択し、座標の「X」と「Y」に変更後の座標値を入力し、「更新」をクリックします。

リストに追加した座標値の行は、


「▲上移動」「▼下移動」で位置を移動できます。

リストに追加した座標値の途中で、新たな座標値を追加したい場合は、座標値を挿入したい行を選択し、座標値を入力後に「挿入」をクリックします。

座標入力

単位
 mm
 m

入力座標種類
 測量座標
 数学座標



座標
 X m
 Y m



追加(A) 削除(D)
 更新(U) 挿入(I)
 ▲上移動 ▼下移動

番号	X	Y	距離
1	22.34300	-17.22000	0.00000
2	24.13200	-19.88200	3.20730
3	34.58500	-19.98800	10.45354
4	34.85500	-2.09100	17.89904
5	22.92900	-2.28700	11.92761

● 敷地の配置について

建物の位置に合わせて敷地を配置する必要はありません。

なるべく入力画面の原点（赤い点）が、敷地の中心にくるように敷地を配置してください。

敷地を配置後、 (建物配置)または (建物移動)を利用して、敷地に対する建物の位置を決めます。

敷地に対する建物の位置を決める方法については、ヘルプまたはこちらをご覧ください。

[\[1055\] 建物配置の利用](#)

[\[1225\] 建物移動の利用](#)